

映像のまち構想のさらなる推進を！



西田 智男 議員

問 7年ぶりに足利に映画館が復活した。映像のまち構想を進める本市として、映画館を運営するユニテッド・シネマと今後どのように連携し、支援を行っていくのか。

市長 映画館のオープンに当たり、ロビーに映像のまち構想PRコーナーを設置するなどの取り組みを行ってきた。今後も同社との連携を密にし、コミュニケーションシネマの設置や、平成27年度からスタートした映像まつりなどさまざまな取り組みを進め、市民に愛される映画館となるよう、全庁を挙げて積極的な連携・支援を行っていききたい。



▲映像のまち構想のPRコーナー

◆省エネルギー化のさらなる推進

問 さらなる省エネルギー化の推進には、市有施設における省電力化等への取り組みが必要と考えるがどうか。

生活環境部長 市役所が一事業所として取り組むべき内容をまとめた第3次足利市役所地球温暖化対策実行計画で、具体的な行動計画を定めている。建物の新築、大規模な改修・改築の際には、それぞれの施設の改修計画に沿って対応していききたい。

傾斜地のメガソーラーを規制や制限の対象に！



渡辺 悟 議員

問 里山の斜面に設置されるメガソーラーは土砂崩れの危険性などで地域住民の不安をおおっている。そうした危険を回避するため、条例により設置の規制や制限を加えることはできないか。

都市建設部長 山間部等に設置されたソーラーパネルが全国的に問題となっている。ソーラーパネルは建築基準法の適用除外となり、都市計画法の開發許可も不要であるなど、本市においても対応に苦慮しているが、引き続き先進事例を研究し、対応を検討していききたい。



▲ソーラーパネル

◆専門職の登用

問 市民ニーズの多様化により、政策の立案や事業の遂行には弁護士や臨床心理士等の専門職の対応が必要な事例がふえている。任期付正規職員として活用する考えはないか。

市長 市では社会福祉士やスクールカウンセラーなど、さまざまな専門職を正規または補助・嘱託職員として任用し、それぞれの専門を生かした分野で業務を行っている。今後もしっかりと現場に目を向けながら、専門職の任用等について検討したい。

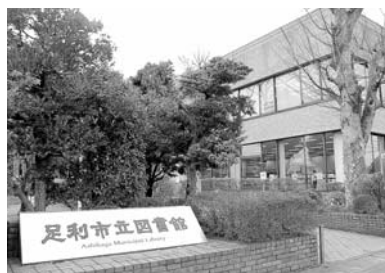
足利市立図書館に「読書通帳」の導入を！



大島 綾 議員

問 活字離れの解消と読書習慣の向上を図るため、県立足利図書館が市へ移管されるのを機に、借りた本の履歴を残す「読書通帳」を導入してはどうか。新しくスタートする足利市立図書館の活性化にもつながると考えるがどうか。

教育次長 読書通帳の導入は子供を中心に市民の読書意欲を高める効果が期待され、読書活動の推進を図る有効な手法と考える。初期投資などの費用対効果も検証しながら、導入に向けた議論を進めていききたい。



▲4月1日にスタートした足利市立図書館

◆投票環境の整備

問 選挙権年齢が18歳に引き下げられることに伴い、若者の政治参加を促す環境整備が求められている。若者の投票率向上のため、大学や幅広い世代が利用するショッピングセンター内に期日前投票所を設置してはどうか。

行政委員会事務局長 本市では17ある全ての公民館で期日前投票所を設置しており、県内及び近隣と比べても充実していることから、新たな投票所の設置は難しいと考えている。